

来年2024年立川稲門会は、50周年を迎えます！

第50回定期総会



第50回定期総会は、2023年10月14日たましんRISURUホールで開催。小林和雄会長の挨拶後、2023年度役員選任・事業計画（案）などの説明があり、議題1～7の全議題が承認されました。来賓を含め54名の出席者でした。

5年ぶり

総会・講演会の後は場所を移して中華料理を楽しみました。講師、来賓の皆さんと一緒に。こうやってともに食事をしながら語りあうことが、どんなに元気をもらうことか。行き場を失っていたおしゃべりを充分堪能し、それぞれがまた明日への活力をもらいました。互いに顔を見合わせながら賑やかな楽しいひとときになりました。

昭和記念公園

学 ぶ

講演会「今どきのジェンダー平等とは」

早稲田大学名誉教授 浅倉 むつ子氏



戦後「平等」は憲法で保障されたが、女性の権利は保障されたでしょうか。

婚姻前の氏を捨てるのは日本だけ。先生は大手企業で働く女性が結婚を機に退職しなかったことで解雇された事件判決をきっかけに女性労働問題にテーマを絞って研究を続けてこられました。男女賃金格差については裁判立証も難しく、夫婦別姓選択制、LGBT理解増進など法制度は進んでいますが、ジェンダー・ギャップ指数は日本は年々下がり146か国中125位。まだまだ根強い役割分業があり、男性の5倍以上の家事・子育てなどの無償労働を女性が引き受けています。日本の長時間労働が女性の労働市場参加の妨げになり、日本の正社員は労働時間や勤務地も無制限であることが期待されてきました。不平等を可視化した女性差別撤廃条約を日本は1985年に批准し、男女育児休業などに取り組んできましたが、さらに国連の選択議定書を批准できるよう司法・立法の実施体制を整えれば、国際基準まで持っていくことができるでしょう。

さてさて、わかるかな？

早稲田大学は1882年に創立され今日に至るまで、創立者大隈重信の理念を基にその歴史を刻んできた。人は変われど、校風は変わらない。しかし、建物は少しずつ生まれ変わっている。そこで、現在の建物をいくつか、クイズ形式で紹介することとした。

写真（1～7）、名称（A～G）、解説（あ～せ、2件ずつ）において、最も関連性のある組み合わせを選んでみよう。写真の下に解答欄を設けたので利用して欲しい。答えは、この会報のどこかに掲載されているよ。



写真1



写真2

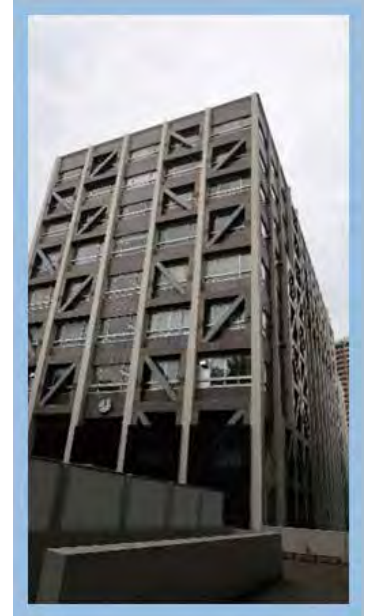


写真3



写真4



写真5



写真6

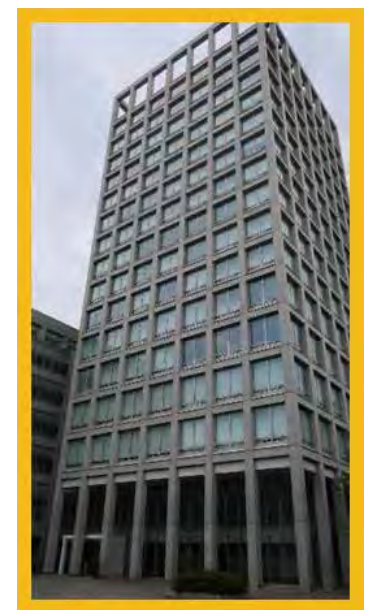


写真7



A 3号館(政治経済学部)

B 8号館(法学部)

C 14号館(社会科学部)

D 16号館(教育学部)

E 33号館(文学部)

F 5i号館(理工学部)

G 11号館(商学部・国際教養学部)

自分が卒業した学部はわかっても、そうでない学部はかなり難しいかも。殆どの人はひとつの学部しか卒業してないから、推測とあてずっぽうで答えるしかないね。

あ

地下2階、地上14階、高さ67.84メートルの新校舎は、正門を入ると右斜め前、大隈銅像と大隈講堂の間に位置し、早稲田キャンパスの顔となっている。

い

入り口は、「記憶と伝統」を意図する旧校舎の入り口を再現した。以前と同じ位置に再構築している。エントランスホールは吹き抜けの空間になっており、その解放感は訪れる人々を魅了する。

う

地上16階の校舎には、教室や会議室、100近い研究室などがあり、地下には、健康相談や応急処置、病院紹介などを行う保健センターがある。

え

地下2階、地上10階からなる校舎は、早稲田キャンパスのほぼ中心に位置する。光を通す透明性のあるガラスブロックを多用した目を引く正面からのデザインが特徴である。

お

校舎の中に入ると少し薄暗いラウンジが広がっている。光を最小限に抑えることで、夏は省エネに貢献している。加えて、エスカレーターも無く、地球環境にとっても優しい校舎である。

か

地下2階、地上18階の校舎は、完成当時は日本有数の高層建築であった。窓面を奥に後退させ、無数の「筋交い」を千鳥に配する斬新なデザインで日本建築学会賞を受賞した。

き

地下2階、地上12階からなる校舎は、2005年に新設された。環境に配慮したエコ校舎であるとともに、IT化への対応も万全。エントランスホールには崇高な雰囲気漂う。

暖かい色の枠と涼しい色の枠から、ひとつずつ選ぶとうまくいくよ。

く

エントランスホールなどには、旧校舎にあったタイルレリーフやタイル壁画、床モザイクタイル、ガラス窓が残されており、かつての面影をしのばせている。

け

裁判員裁判にも対応した法廷教室では、日々、模擬裁判が行われている。また、106教室では、これまでに数多くの講演会やシンポジウムが開催されてきた。

こ

1967年の建設なので、築56年の「剛構造の最後の高層ビル」として有名である。「筋交い」は、後付けの耐震補強ではなく、最初から。横から見る姿にもかなりのインパクトがある。

き

内部は打ちっばなしのコンクリートに間接照明となっている。透過性と遮断性という、相反する性質を有する素材を使うことで、他では見られない落ち着いた雰囲気を作り出している。

「柔構造の先駆け」では、その後いろいろ進歩しているので、まったく自慢にはならない。それよりも、「剛構造の最後の高層ビル」は、シーラーカンスのようでカッコいい。

し

大教室は木を多用しており、厳粛な雰囲気と適度な緊張を生み出す。馬蹄形教室は、海外の大学校舎を参考にしたU字形の教室である。ディスカッションの場として利用されてる。

す

新校舎は、旧校舎南側のエントランスを再現し、鉄製の扉を再利用した。これと、先進的な空間と機能を備えた高層棟を組み合わせた1階ホールは、懐かしの中庭を彷彿とさせる。

せ

キャンパスの奥にある古いこの校舎は、「早稲田のチベット」と呼ばれている。しかし、2027年には、地下2階、地上16階の高層校舎が新設予定である。もう、チベットなんて言わせない。

新しく建て替えるとき、前の校舎の特徴ある場所を再構築したり、部分的に再利用して、以前の面影を残している。なかなか、粋なことをするね。

こんな呼び方は、チベットの住民に申し訳ない。今やレトロな空気を醸す「昭和」と、資源豊富な未開の地「南極」を合体させて、「南極昭和基地」はどうだろうか。すごくイイね、こりゃ。

2023年稲門祭に寄せて

大倉 健弘 1982(S57)年 政経

2023年稲門祭・ホームカミングデーは、コロナ禍の影響により4年ぶりに対面での開催となり、会場内での飲食も酒類を除いて解禁されることとなりました。

稲門祭は、皆が学生時代に戻って楽しめる、早稲田大学校友会最大のイベントをコンセプトにしています。2023稲門祭は、「心ふるさと早稲田」がテーマでした。今回私も、久しぶりに母校の稲門祭に実行委員として参加いたしました。大学の周辺は時代とともに街も店も大きく変わっていました。

(メルシー、キッチンオトボケ、三品食堂、ラーメンえぞ菊は健在です。)本部キャンパス内においても、特に商学部、政経学部など校舎建物の高層化には驚かされました。大隈侯の銅像も、心なしか小さく感じられました。

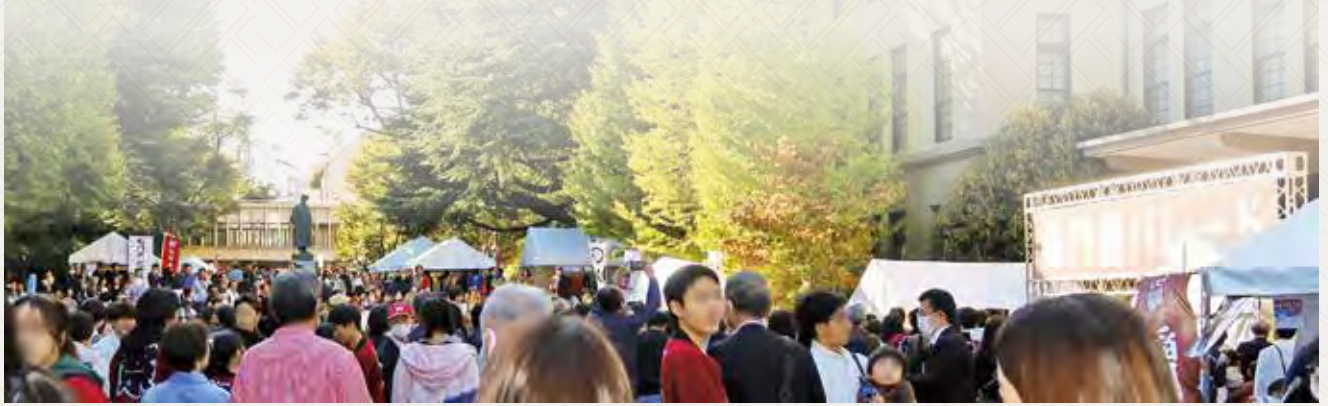
今年の稲門祭はさまざまな方々の協力により、盛大に開催されました。大隈講堂では、稲門音楽祭として、「古閑裕而」名曲コンサート、話芸、ワセオケの他、映画『エターナルラブが蔓延した日』が上映されました。また大隈庭園では、ハワイの民族舞踊会、

チアリーディング、ジャズコンサートなどが開催され、多くの観客でにぎわっていました。



キャンパス内でも、稲門祭パレードの行進が行われ、多くの模擬店が並び人々でごった返していました。あたかも原宿や、渋谷交差点にでもいるようでした。その他、各教室では講演会、交流会、企画展がいろいろ開かれていましたが、とても書ききれません。早稲田アリーナ(戸山キャンパス)においては、ホームカミングデー記念式典が開催されました。

今回の稲門祭が、久しぶりの対面開催ということで、どこも活況で、やっとコロナ禍から解放されたという高揚感に包まれていた感じです。今回天気にも恵まれ快晴で、心も晴れやかになり、母校からより一層の元気をもらえた一日でした。



祝 設立

早稲田二十日会

会計監事 鴛海量良

S37 政経
自宅 〒186 東京都国立市北一三二-1
国立テニールレックス1101

作家 溝口 敦

S40 政経
本名 島田敬三
「喰うか喰われるか 私の山口組体験」
講談社文庫 定価七四〇円税別 単行本

鴛海・亀井税務会計事務所

所長・税理士 亀井裕子

H2 政経
〒190 0012 東京都立川市曙町一三三-13
電話 〇四二(五二七)六四一〇
FAX 〇四二(五二七)六四一九一
e-mail:toi@papa@pds.so-net.ne.jp

社会保険労務士法人木村事務所

代表社員 木村辰幸

S63 社会 H21 法学研究科修士
〒190 0012 東京都立川市曙町一三三-15
電話 〇四二(五九九)七三三〇
ホームページ <https://www.kimurajinmsrpo.or.jp/>

鎌田相続税理士事務所

公認会計士 税理士 行政書士
鎌田 健吾

H13 政経
立川市柴崎町二一三-115
電話 〇四二(五二五)四〇一五
ホームページ <http://kamatani.jp>



立川稲門会ホームページがリニューアルされました

立川稲門会第50回定期総会が開催された10月14日付で、立川稲門会ホームページがリニューアルされました。これまでのホームページはWordPressで作成されていましたが、より簡単に更新ができるJimdo（ジンドゥー）というツールを使用して作成されました。堅苦しくなく、操作性もよくなりました。またスマホでも見やすくなっています。メニューには、これまでなかった4大イベントや、役員会・委員会活動も加わり、さらに予定表では、カレンダー形式で活動予定・記録が参照できます。誰でも簡単に更新ができるため、主に更新することになる役員、同好会代表者を対象とした、更新の講習会も開催されました。



2頁・3頁 さてさて、わかるかな？ の答え

- 写真1-A- あ、す
- 写真2-C- え、さ
- 写真3-D- お、せ
- 写真4-G- い、し
- 写真5-F- か、こ
- 写真6-B- き、け
- 写真7-E- う、く

50周年記念祝賀会

2024年10月6日（日）午後 ホテルエミシア東京立川で開催。
講演会を予定 ご期待ください。
寄付のご協力をお願いします。



50周年

S44 政経

足柄工業株式会社
代表取締役 天野博一

本 千1900011 東京都立川市藤町一丁目四番地
電話 〇四一（五二）一八二一
FAX 〇四一（五二）一八〇二
e-mail: tano@adachi-industry.com
東京事務所 千1900011 東京都立川市藤町一丁目四番地
電話 〇四一（五二）一八二一
FAX 〇四一（五二）一八〇二
e-mail: tano@adachi-industry.com

S51 理工

交通システム電機株式会社
取締役副社長
東京都立大学名誉教授
工学博士 森 泰親

千1900002 東京都立川市藤町一〇一七
電話 〇四一（五二）四一八八
ホームページ http://www.tsec.co.jp/

H11 政経

司法書士平野克典事務所
（相続・生前対策）
所長・司法書士 平野克典

千1900011 東京都立川市高松町三二八十一
ワンテイルビル六階六〇二号
電話 〇四一（五二）九〇七八
e-mail: kashihiro.office@gmail.com

S40 文

志村エステート株式会社
代表取締役 志村順子

立川市富士見町四一七一六
電話 〇四一（五二）四七六三
e-mail: jiks@com.zaq.ne.jp

S51 社会

佐竹茂市郎税理士事務所
税理士 佐竹茂市郎

千1690074 東京都新宿区北新宿一丁目一七
電話 〇三（三六）六〇七二
FAX 〇三（三六）六〇七二
携帯 〇八〇五二（八二）四二四
e-mail: shigenobu@shigenobu-shigenobu.com



お気に入りの場所 in 立川



今回のお気に入りは、期せずして緑の風景二点となりました。
それぞれの緑の意味を感じてください。

武蔵野の面影・矢川緑地

小林 和雄 1972(S47)年 理工

散歩に出るとき必ず寄り道をするお気に入りの場所がある。

雑木林の木漏れ日、湿地帯の木道、小川のせせらぎ、カモの親子。武蔵野の自然を感じることができる、羽衣町みのわ通り東に位置する東京都保全地域・矢川緑地だ。

2分ほどで通り抜けてしまう狭い場所だが、小川に沿って国立矢川方面に足を延ばすと素敵な散歩道となる。小川は、この地域を源流とした矢川。東京の名湧水57選に選ばれている。



自転車通勤の途中にある若葉町の廃屋

浅谷 佳秀 1986(S61)年 法

夏ともなると廃屋全体を緑が覆い尽くして、それ自体がうずくまっている一匹の大きな生き物のようだ。

私はこの生命感に溢れた廃屋が純粋に好きなのだ。畏敬の念さえ感じる。

放置された廃屋は増え続けていて、行政や近隣の住民を悩ませる社会問題になっているが、この廃屋もその一つではあるのだろう。ここにもかつては住んでいる人がいて、家族の団欒があったのだ。

窓が割れ、壁の一部にも穴があいていて、今にも崩れ落ちそうな状態である。いつ撤去されてもおかしくないと思うのだが、もう10年以上も、廃屋の状態のままで、この場所にひっそりと佇んでいる。

暑さを吹き飛ばした夏の夜

9月9日 納涼会
タチヒビーチにて



まずは自己紹介
学生4名を含めて
24名の参加でした

近くのスーパーで
買ってきた食材
終わってみれば
何も残らず…



青空の砂浜でハイ・チーズ



実は夜の青空はこんな仕掛け



学生が大活躍
お疲れ様でした



同好会だより

散策の会

立川市内の名所、旧跡を訪ねて、のんびりと歩こうと。始まった会。早いもので、20年近くになりました。現在は、市内だけではなく、近郊の里山、公園、名所などを歩いています。当初は、10Kmくらいがめどでしたが、今は、4～6Km程度です。毎月（除く7月、8月・夏休み）第3水曜日に実施しています。会員にはメールで案内をしています。同じ内容を、立川稲門会ホームページにも送信しています。飛び入り参加も歓迎です。入会はもっと歓迎です。

ゴルフ愛好会

年3～4回コンペ実施中。毎回熱い戦いが繰り広げられてます！たのしい仲間とナイスショット！メンバー募集中。経験浅い方、女性大歓迎です。八王子GMG、武蔵野カントリー、大月カントリー、西武園、青梅カントリー等でコンペ開催しております。また、ゴルフに関してのお悩み、ご相談等…絶賛受付中！

連絡先 山口哲彦 携帯 090-8330-1581
e-mail: yamaguchi@nagai-komuten.jp

早稲田ラグビーを愛する会

この会は、毎年2回、11月23日（祝）の早慶戦、12月第一日曜日の早明戦観戦応援を行っています。コロナ禍以降、4年ぶりに活動を再開。ワールドカップでの早稲田OBの齋藤直人選手の活躍の後でもあり、会員家族も一緒に楽しい観戦・応援となりました。

連絡先が明記されていない同好会に関する問い合わせは、立川稲門会代表メール(tachikawatomon@gmail.com)へ。

一人でも多くの方との観戦・応援を望んでいます。立川稲門会50周年記念の良き年、是非一緒に観戦・応援しませんか。入会大歓迎です！！

代表世話人 伊藤裕康 e-mail: taigar269719@yahoo.co.jp

談話サロン

参加者も主役の談話サロン

当会は、体験談、社会的問題、その時々身近な関心事などジャンルを問わずお話し頂き、意見交換をテーマに活動しています。受講者も積極的に発言し交流に努めています。人との出会いを大切に、感性を磨き、視野を広め懇親をモットーに活動するものです。

◆開催日：毎月基本第2火曜日14時から16時

◆場所：立川市こども未来センター会議室

◆参加費：500円

◆幹事：小宮山正明（S43年理工）

e-mail: mkomichan@gmail.com

稲酔会

稲酔会とは、楽しくお酒を飲みながら地域の垣根を越えて、稲門同士で交流を深めることをモットーとしています。稲酔会は、年3回の例会を中心に活動をしています。春の早慶レガッタは、アサヒビールのゲストルームをお借りして、武蔵野稲門会をはじめとする近隣稲門会と合同で応援を行います。夏は、立川近辺で暑気払いを行います。秋は、青梅線沿線の稲門会と合同稲酔会を開催しています。皆様と一杯飲める日を心待ちにしております。

中村信さんを偲んで

1963 (S38) 年 文

広報委員会のメンバーはいつも信さんの事務所に行って、わいわいがやがや賑やかに広報を作っていました。特に40周年記念号の時は、皆さんから集まった原稿や、信さんと早稲田資料センターで撮った写真を基に企画しました。楽しい思い出に残る時間でした。猿若句会を主宰されていたので、稲門会役員会のお知らせには信さんの句をいつも載せていました。私が覚えている句は「寒鯉め 吾を睨むか 減相なり」「半夏生 中途半端も 佳しと生く」。記事のメリハリを教えていただき、最期まで稲門会を応援していただきありがとうございます。（志村順子記）

田中清勝君を悼む

1975 (S50) 年 理工

田中清勝君が、病魔に侵され亡くなりました。鈴木会長時代、幹事長をしていた私を副幹事長として、よく支えてくれました。持ち前のサービス精神で、稲門会の各行事ではいつも先頭に立って雑用を引き受けてくれたことが思い出されます。観桜会には息子たちを引き連れリヤカーを引っ張っている姿が思い出されます。その息子も早稲田に入り立派な社会人になっています。立川市議会議員として長く市政を支え、第51代副議長としても務められました。まだまだ稲門会でも活躍してもらわなくてはならない貴重な人材でしたので、残念でなりません。（享年72歳）

（小林和雄記）

編
集
後
記

第50回定期総会では、5年ぶりに懇親会を行うことができ、92歳の元気な大先輩も参加し、楽しい会となりました。納涼会では、学生が大活躍し、改めて、早稲田の良さを痛感しました。この会報を読んで楽しんでいただき、新たな会員が一人でも増え、一緒に50周年記念祝賀会を迎えられたら、最高です。（伊藤裕康）